

発行/那覇市上下水道局

所在地/那覇市寄宮2-32-1 TEL/098-832-4171

http://www.water.naha.okinawa.jp

100再生紙を使用しています。

なはの水

水道局から上下水道局になりました。

那覇市では、従来、水道に関しては水道局、下水道に関しては建設管理部の下水道管理室と下水道建設課においてそれぞれ別個に業務を行っておりましたが、水のリサイクルや雨水の利用等に対する関心が高まりつつある近年の社会情勢を背景に、水環境を軸にした総合的な組織体制作りとして、水に関する業務執行部署である「水道局」と「下水道管理室・下水道建設課」を統合し、組織名称も「上下水道局」と改めました。新体制の下、より一層、市民サービスの向上、経営の効率化、組織の合理化を推進してまいりますので、今後とも上下水道事業に対するご理解ご協力を宜しくお願いします。

統合前	平成17年4月1日統合	統合後
水道局 総務課 企画経営課 財政課 料金課 管理課 配水課 工務課 水道局 新庁舎建設室		上下水道局 課名 主な業務 総務課 832-4171 上下水道局の総括、職員の任免、給与、労務管理、法規、情報公開、日本水道協会等 企画経営課 832-4173 経営基本計画、事業の総合調整、広報、統計、料金制度、電子計算業務等 財政課 832-4172 財政計画、予算、決算総括、資金計画・運用、財産の取得・処分、不用品の処分等 料金課 832-4178 水道使用の開始・中止受付、水道・下水道及び再生水の使用量の計量、水道料金・下水道使用料及び再生水利用料の調定・収納等 管理課 832-4175 水道の管路維持管理のための調査設計・施工監理、水道管路管理図面の作成、水道管路の漏水防止・修繕等 配水課 832-4174 水道の配水及び受水に関すること、電気設備の保安、水質検査、配水池等水道施設の維持管理、給水装置工事の受付・審査等 工務課 832-4170 水道工事の中期計画、上下水道局新庁舎建設に関すること、水道施設の拡張改良の設計・施工 下水道課 951-3240 公共下水道(汚水)の管路維持管理、排水設備工事の受付・審査等公共下水道及び再生水事業の計画・認可申請・施工、下水道協会等 契約検査課 854-8010 上下水道工事の請負、業務の委託、貯蔵品等の調達に係る契約、上下水道工事等の検査

上下水道事業誕生までのあゆみ

那覇市上下水道局は、ダムや川、海から取水した水を安全に安定して供給する上水道事業と、私たちの生活で使用された汚れた水をきれいに処理して川や海に返す下水道事業が、一緒になって全ての生命をいたわる水環境づくりにつとめます。

昭和47年～復帰後 昭和47年～昭和20年 復帰前 昭和20年～昭和16年 戦争 ～昭和4年 戦前

昭和38年の大洪水では、鹿児島県や福岡県からの支援を受けました。



干上がった天願ダム

昭和8年泊浄水場での通水式



戦争により施設が破壊される

那覇市の上水道施設は、昭和四年に泊浄水場建設に着手し、昭和八年には通水を開始しました。



平成9年、新たな水源開発として海水の淡水化施設が完成しました。

水源開発のため昭和49年から平成8年の間に6つのダムが建設されました。

ゆとりと潤いのある住環境をめざします。



平成17年4月水道局と下水道管理室、下水道建設課が統合され、那覇市上下水道局となりました。



都市化が進むとともに増加する給水量を確保するため送・配水施設の整備を進めています。

昭和30年代頃の市内の川は雨が降ると氾濫し、晴れた日には川底より悪臭を放つ劣悪な環境だったため、社会問題となっていました。



大雨のたびに...

昭和40年下水道工事に着手

当時のガープ川 洪水被害のほか、ゴミの不法投棄や生活排水など河川環境は最悪でした。

戦争により施設が破壊される

下水道事業に着手

昭和10年 戦前の下水道は、昭和十年に着手され、昭和十三年末までに約十五キロメートルの下水道管が布設されましたが、戦争により施設が破壊され本格的な供用には至りませんでした。

昭和46年久茂地川への不法投棄を伝える新聞記事



久茂地川フェスティバル



下水道の整備が進み、久茂地川の水もずいぶんきれいになってきました。



那覇市のマンホール蓋 市章の周囲に魚をデザインしたもので生活排水等で汚れた水を下水道施設により浄化し、魚が住める環境に戻すことをイメージしています。